

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】令和6年4月30日(2024.4.30)

【公開番号】特開2024-23637(P2024-23637A)
 【公開日】令和6年2月21日(2024.2.21)
 【年通号数】公開公報(特許)2024-033
 【出願番号】特願2023-209511(P2023-209511)
 【国際特許分類】
 G 0 6 F 8 / 3 8 (2 0 1 8 . 0 1)
 【 F I 】
 G 0 6 F 8 / 3 8

10

【手続補正書】
 【提出日】令和6年4月19日(2024.4.19)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アプリケーションにおけるユーザロールと画面表示項目とを対応付けて該画面表示項目の表示可否を定義した表示可否情報に基づき、選択を受け付けたユーザロールに対して表示すべき画面表示項目を表示する前記アプリケーションを生成する生成手段を有することを特徴とする情報処理システム

【請求項2】

前記選択を受け付けたユーザロールとは、操作者による選択を受け付けたユーザロールであることを特徴とする請求項1に記載の情報処理システム。

【請求項3】

前記選択を受け付けたユーザロールとは、前記アプリケーションに係る設定を受け付ける受付部で受け付けたユーザロールであることを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理システム。

30

【請求項4】

前記受付部は、前記ユーザロールに対応する複数の選択肢を表示し、前記アプリケーションは、前記複数の選択肢から選択された選択肢に対応するユーザロールに対して表示すべき画面表示項目を表示するアプリケーションであることを特徴とする請求項3に記載の情報処理システム。

【請求項5】

前記アプリケーションに係る設定を受け付ける受付部は、前記アプリケーションの画面とともに表示されることを特徴とする請求項3又は4に記載の情報処理システム。

40

【請求項6】

前記受付部は、前記アプリケーションの画面に重畳して表示されることを特徴とする請求項3乃至5のいずれか1項に記載の情報処理システム。

【請求項7】

前記アプリケーションを生成する定義情報を取得する取得手段と、前記生成手段は、前記定義情報を用いて前記アプリケーションを生成し、前記定義情報には、前記表示可否情報が含まれることを特徴とする請求項1乃至6のいずれか1項に記載の情報処理システム。

【請求項8】

50

前記定義情報は、前記アプリケーションの画面に表示する画面定義情報を有しており、前記画面定義情報には、前記表示可否情報が含まれることを特徴とする請求項7に記載の情報処理システム。

【請求項9】

前記アプリケーションはプロトタイプアプリケーションであることを特徴とする請求項1乃至8のいずれか1項に記載の情報処理システム。

【請求項10】

前記アプリケーションの画面は、プロダクトアプリケーションの画面を確認するためのプロトタイプアプリケーションの画面であることを特徴とする請求項9に記載の情報処理システム。

【請求項11】

前記生成手段は、前記アプリケーションの開発者によって予め設定された値であるプロトタイプデータを用いて、前記プロトタイプアプリケーションを生成することを特徴とする請求項9又は10に記載の情報処理システム。

【請求項12】

アプリケーションにおけるユーザロールと画面表示項目とを対応付けて該画面表示項目の表示可否を定義した表示可否情報に基づき、選択を受け付けたユーザロールに対して表示すべき画面表示項目を表示する前記アプリケーションを生成する生成手段を有することを特徴とする情報処理システムの制御方法。

【請求項13】

少なくとも1つのコンピュータを、請求項1乃至11のいずれか1項に記載の情報処理システムの各手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の目的は、ユーザロール毎のアプリケーションの表示を容易に確認できるアプリケーションを生成することである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するために、本発明は、アプリケーションにおけるユーザロールと画面表示項目とを対応付けて該画面表示項目の表示可否を定義した表示可否情報に基づき、選択を受け付けたユーザロールに対して表示すべき画面表示項目を表示する前記アプリケーションを生成する生成手段を有することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明によれば、ユーザロール毎のアプリケーションの表示を容易に確認できるアプリケーションを生成することができる効果を有する。

10

20

30

40

50